

令和7年3月15日

関係者様

世田谷区立東深沢小学校

校長 奥長 英樹

令和6年度 次年度に向けた改善方策について

学校関係者評価委員会の皆様には、「学校関係者評価アンケート（児童・保護者・地域）」のデータを基に、授業や学校行事を参観いただき、本校の実情を踏まえた学校関係者評価報告書をご提出いただきました。そのご労苦に心より俯瞰感謝申し上げます。

東深沢小学校では、この「学校関係者評価委員会報告書」を真摯に受け止め、ご提出いただいた内容に対し、以下のように改善してまいります。これからも保護者・地域の皆様から信頼され、児童が安心して生活できる学校づくりに取り組んでまいります。

【学校の重点目標について】

1 重点目標に「思いやりのある やさしい子」を位置づけ、気持ちのこもったあいさつがあふれる学校づくりに取り組みます。

児童の肯定的評価は、昨年度の82%→83%とわずかに上回りました。ただし、重点目標としてあいさつに取り組んでいるにも関わらず、児童の肯定的評価のA評価が低下したという結果を真摯に受け止めています。児童があいさつをしようという意識を高めるために、委員会活動の挨拶委員会の活動を中心に、引き続き主体的に挨拶をしようとする態度の育成を図ってまいります。一方、保護者と地域の評価は、おおむね高い評価をいただいており、保護者は前年比+2ポイント、地域は前年比-2ポイントながらも88%という結果となりました。学校や地域での取組をホームページ等で分かりやすく保護者や地域の皆様に周知するとともに、学舎で取り組んでいる地域の「あいさつ運動」や「こども見守り隊」の活動ともさらなる連携を引き続き図ってまいります。

2 「教職員のいないところには、子供はいない。子供がいるところには、教員がいる。」を教職員の安全管理目標とします。

児童・保護者・地域それぞれ高い評価をいただいています。休み時間も校庭で児童を見守る教員と教室に残って各教室の児童を見守る教員の分担を明確にするなど、日常的に安全に対する教職員の意識を高めています。引き続き、安全・安心な学校づくりをしてまいります。

3 「いじめ0（ゼロ）」をめざして、いじめ未然防止・早期発見・解決に取り組みます。

毎月学校生活アンケートを実施して、児童が相談しやすい環境を整え対応していることや、学校全体でこまめな情報共有を図っているものの、児童の「先生たちに相談できる。」の項目は、前年同様比81%となり、13%の児童は相談しにくいと感じている結果を真摯に受け止めています。さらに児童とのコミュニケーションを大切に丁寧に指導してまいります。一方、保護者の「本校は、子どものことを相談しやすい。」の項目は、前年比-1ポイントの84%となり、学校の取組に対しておおむね理解していただいていることが分かりました。引き続き、学校家庭間の信頼関係を大切にしてまいります。

4 「ひがしのスタンダード2025」を策定し、学習・生活指導の充実に取り組みます。

児童の肯定的評価は、前年比-1ポイントとなり、スタンダードが児童の中で定着している中で、学校のきまりが守れていない児童は自覚している結果となりました。学習用タブレット端末の使い方について、改めて学校のきまりを整え、児童の発達段階や学年の実態に応じた指導の工夫をしてまいります。保護者の肯定的評価は-5ポイントとなり、学校の取組に対してさらなる理解をしていただく必要があることが分かりました。引き続き、保護者とも情報共有し、連携を図りながら対応してまいります。

5 緊急時の対応体制の強化を図ります。

保護者・地域からかなり高い評価をいただいている。災害時のガイドラインを年度初めに提示するとともに、台風時には「すぐーる」で改めて情報配信する等の工夫が高評価につながっていると考えられます。地域の避難所運営本部による避難所訓練等、地域と連携した防災教育にも力を入れてまいります。

6 「児童の主体的な学び」をテーマに校内研究に取り組みます。

主体的な学びの柱となる「考えたことを話し合ったり、発表し合ったりする機会がある。」の項目の肯定的評価は、児童が90%、保護者は91%となりました。引き続き児童が主体的・対話的に学習に取り組んでいけるよう、授業改善に努めてまいります。